

ふれあいの心がつまっています。



野木町社協情報誌 NOGI-TOWN POCKET

 この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

おれんじカフェ

「おれんじカフェとは認知症の方やその介護をしている方、認知症に関心がある方など、誰でも気軽に利用できる憩いの場です。認知症に関することをみんなで共有しませんか？」

会 場：野木町総合サポートセンターひまわり館

日 時：各日午後2時～3時

7月14日（木）：栄養バランスについて

8月26日（金）：介護技術について

9月12日（月）：もしもの時の医療・ケア

10月18日（火）：補聴器について

定 員：先着15名（※要事前申し込み）

*開催月により申し込み開始日が異なりますので、町の広報をご確認ください。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により中止する場合があります。

<問合せ先> 野木町役場 健康福祉課高齢対策係

Tel 57-4173



目次

P2 令和3年度
野木町社会福祉協議会事業報告

P3 令和3年度
野木町社会福祉協議会決算報告

P4 令和4年度ボランティア全体会・全体研修会

P5 えんじゅクラブ通信
みつけた!地域のつながり②

P6 地域ふくし・思いやりプロジェクト報告
夏の脳卒中に要注意!

P7 ウクライナ人道危機救援金
ふれあい福祉総合相談

P8 ボランティアチャレンジスクール参加者募集
ひとりぐらし交流会のお知らせ

令和3年度事業報告

マークの事業は一部共同募金の配分金を受けて事業を実施しています。

法人運営

- (1) 理事会4回開催、評議員会2回開催、監査会1回開催
評議員選任・解任委員会1回開催
- (2) 会員増強推進

会員数(寄付含)	6,506世帯	金額	3,184,640円
賛助会員数	39事業所	金額	198,000円
- (3) 善意の寄付

金品	14件	413,181円
物品	6件	

地域包括支援センター事業

- (1) 総合相談支援 4,263件
- (2) 介護支援専門員定例ケア会議の開催 3回
- (3) 予防給付介護予防支援事業(予防ケアプラン作成) 3,217件

生活支援体制整備事業

- (1) 生活支援コーディネーターの設置
- (2) 生活支援体制整備事業「協議体」会議1回開催

地域福祉計画・地域福祉活動計画

- (1) 第2期地域福祉計画地域福祉活動計画策定事業
策定委員会3回開催
パブリックコメントの実施

高齢者福祉の推進

- (1) 高齢者と子どもの交流事業 1回

ふれあい福祉総合相談

- (1) 総合相談

心配ごと相談	2件
法律相談	42件
介護・高齢者相談	275件

障がい者福祉の推進

- (1) 視覚障がい者デジジー録音CDの作成と貸出

ボランティア活動

- (1) ボランティアの登録

団体数	11団体
個人ボランティア	53名
- (2) ホームページの開設
- (3) ボランティア保険加入数

ボランティア活動保険	505名
ボランティア行事保険	167名
- (4) 学童・生徒のボランティア活動普及事業の推進
 - ① 福祉教育推進連絡会議の開催 年2回
 - ② 地域福祉新聞の発刊 年1回
- (5) ボランティア活動の支援
 - ① 傾聴ボランティア養成講座(10/7、10/20、10/28)
- (6) 災害時における支援活動・災害ボランティアセンター設置に係る整備

生活支援・資金貸付事業

- (1) 日常生活自立支援(あすてらす) 178回
- (2) 生活福祉資金貸付 71件
- (3) 社会福祉金庫貸付 7件
- (4) 行路援護者援助 2件

法人後見事業

- (1) 法人後見運営委員会2回開催
- (2) 法人後見受任状況 1件

老人福祉センター(ホープ館)の管理運営

- (1) 老人福祉センター利用者数 6,560名
- (2) 講座等の開催

生活サポート運動教室	12回
初心者向け養生気功講座	12回
初心者向けパソコン講座	21回
フラワーアレンジメント教室	5回

地域福祉啓発活動

- (1) 社協情報誌「ぼけっと」の発刊 年4回

「キラ輪号」の運行

- (1) 新規登録者数 152名
- (2) キラ輪号利用者数 8,425名

在宅福祉サービス事業

- (1) ふれあいサービス(住民参加型在宅福祉サービス)事業 35件
- (2) 配食サービス事業 1,881食

配食ボランティア数	45名
-----------	-----
- (3) 外出支援サービス事業 41回
- (4) 福祉機材(車いす)貸出事業 30件

日本赤十字社活動と共同募金活動

- (1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局
 - ① 日本赤十字社員募集(5月)
募金総額 3,177,028円
 - ② 災害等による被災地への義援金等の受付
義援金総額 50,000円
- (2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局
 - ① 赤い羽根共同募金運動(10月)
募金総額 2,779,979円

居宅介護支援事業

- (1) 居宅介護支援事業(ケアプラン作成) 1,061件

令和3年度 決算報告

資金収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

(単位:円)

事業活動収入	165,095,152
事業活動支出	171,005,505
事業活動資金収支差額	△ 5,910,353
施設整備等収入	0
施設整備等支出	1,553,585
施設整備等資金収支差額	△ 1,553,585
その他の活動収入	13,862,120
その他の活動支出	5,807,070
その他の活動資金収支差額	8,055,050
予備費支出	0
当期資金収支差額	591,112
前期末支払資金残高	13,619,777
当期末支払資金残高	14,210,889

事業活動収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

(単位:円)

サービス活動収益	164,999,546
サービス活動費用	159,826,775
サービス活動増減差額	5,172,771
サービス活動外収益	6,742
サービス活動外費用	49,555
サービス活動外増減差額	△ 42,813
経常増減差額	5,129,958
特別収益	0
特別費用	481,800
特別増減差額	△ 481,800
当期活動増減差額	4,648,158
前期繰越活動増減差額	4,869,505
当期末繰越活動増減差額	9,517,663
基金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	301
次期繰越活動増減差額	9,517,362

貸借対照表

令和4年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	51,654,055	流動負債	38,252,386
固定資産	146,273,906	固定負債	52,696,182
		負債合計	90,948,568
		純資産の部	
		基本金	1,000,000
		基金	64,366,038
		国庫補助金等特別積立金	473,771
		その他の積立金	31,622,222
		次期繰越活動収支差額	9,517,362
		純資産合計	106,979,393
資産合計	197,927,961	負債・純資産合計	197,927,961

令和4年度 野木町社会福祉ボランティア連絡協議会 全体会/全体研修会



4月14日、ホープ館(町老人福祉センター)に40名の町のボランティア仲間が集い、町社会福祉ボランティア連絡協議会の全体会・全体研修会が行われました。

全体会では、田畑義明会長より令和3年度の1年間の活動が報告され、令和4年度の事業計画と引き続き会長に就任された同会長をはじめ新役員が紹介され承認されました。

(全体研修会)ボランティア取材レポート 走辺 寿美子

「野木町総合サポートセンターの役割とフードバンク事業の取組について」

講師：溝部貴之氏(野木町総合サポートセンター職員)



「ひまわり館って何をしている所なの?」……2019年4月に丸林にオープンした「町総合サポートセンター・ひまわり館。」今回、この疑問に答えてくれたのは、社会福祉士などの資格を持つ職員 溝部貴之氏。

まず、プロジェクタースクリーンに映し出されたのは、「断らない相談支援」。「基本的にどんな相談でも受け付けます。健康・福祉・介護・子育て・障がい・生活困窮など、困ったことがありましたら、何でもご相談ください」と話す。

さらに、「同センターだけで解決できないことは、必要な関係部署に協力を依頼して対応します」というから頼もしい。同センターには、社会福祉士や保健師、生活困窮者自立相談支援員、(生活支援コーディネーター)など各分野の専門職員が相談に応じている。

「でも、様々な機関がある中で、何故総合サポートセンターなの?」という疑問が浮かぶ。その求められる背景として、公的福祉では限界の複合的な課題や制度の狭間、支援の対象外の相談があるという。事例として、高齢の親と障がい者や引きこもりの子どもが



る家の相談など、一つの家族でいくつもの問題を抱えている場合がある。他機関の場合、各部門に分かれてしまうこともあるが、ここでは、全てOK。又、ゴミをまき散らす認知症の一人暮らしの高齢者など、支援対象外の相談も。これらは民生委員やケアマネジャーなどからの相談が主だが、「近隣で困っている人がいたら教えてほしい」と、情報を呼びかけている。

町では、今年度から、家庭で余った食品の寄付を募る「フードバンク事業」を開始。同センターで随時受け付けている。集まった食品は、支援を必要とする生活困窮世帯に届けられる。以前のフードドライブ事業と違い、食の支援機関を通さず直接支援できるようになった。寄付していただきたい食品は、缶詰やレトルト食品、白米、乳幼児食品など賞味(消費)期限が3ヶ月以上残っている常温保存可能な食品。

高齢化率33%になった野木町。これから、様々な問題が起きることが予想されます。一人で悩まず、専門職員の方や民生委員・児童委員など身近な人にまずは相談することが一番と思う。そして、お互い思いやる気持ちも忘れず、情報提供やフードバンク事業に協力しよう。又、同センターでは、健康や福祉に関する講座や研修も行われている。そして、相談がなくても利用できる「ひまわりカフェ」や「子育て支援室(キッズコーナー)」、「健康チェックコーナー」「フィットネスコーナー」もあるとのこと。ちょっと、気楽に遊びに行くのもいいかもしれない。

(野木町総合サポートセンター ☎0280-33-6878)

えんじゅクラブ通信

『川田和楽会』 ～ボランティア清掃に汗～



5月吉日、川田の「ひがな花ロード」にて、川田和楽会の役員が奉仕作業をしています。

草取りなどの清掃を、9月の彼岸花の開花時期に合わせ年4回ほど行っています。

草を刈る人、取った草を集めて軽トラックの荷台に乗せる人、軽トラックを運転して捨てる人、息の合ったコンビネーションであつという間に作業終了です。

ひと汗かいた後の談笑には、最高の笑顔が飛び交っていました。

さて、今年も素敵な花をさかせてくれることを楽しみにしています。

会長、役員の皆様、お疲れ様でした。



生活支援体制整備事業では、高齢者をはじめとするすべての人が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていけるよう、さまざまな活動の支援をしています。

この『みつけた! 地域のつながり』コーナーでは、地域等における個人や団体等の実際の活動事例をシリーズでご紹介し、地域にある支え合い活動の輪を広げていきたいと思ひます。

全員で楽しんでいます。ふれあいサロン～潤島会場～

潤島サロンは、潤島コミュニティーセンターで毎月第2～第4火曜日の午前9時から12時まで開催しています。みんなで体育指導員さんのもと軽体操を行ったり、絵手紙を書いたり脳トレをしたりと、様々な活動で交流を図っています。昨年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどお休みになっていましたが、4月のフリーサロンを経て、5月から本格的活動再開へ。

5月10日は、みんなが集まったの青空サロンでバスに乗ってあしかがフラワーパークへお出かけ。

ひさしぶりにみんなでお会いできて嬉しい笑顔の中、サロンの今西さんは「このサロンはお世話するサポーターとお世話してもらう参加者と分けるのではなく、全員がサポーターであり参加者なんです。どんな方でもお客さんではなく、小さなことでもできることを手伝ってみんなに役割をもってもらうこと。みんなで一緒に楽しむのがこのサロンです。」と話してくれました。

サロンを通じていろいろな人がそれぞれの役割を持つこと。それがみなさんの元気の源だと感じました。



集合写真



サポーター 今西さん

地域ふくし・思いやりプロジェクト～カレーの日～ 多数のご来場 ありがとうございます!!

コロナ禍は、私たちの家庭や地域における「つながり」を縮小させ、多くの人の「ふだんの暮らし」に大きな困難を与えました。「地域ふくし・思いやりプロジェクト」は、そんな現状を少しでも明るく変えていくため、私たち社会福祉協議会が行政、地域活動団体、ボランティアさん等と協力して事業を実施することで、改めて地域における「つながり」の仕組み・体制について考え、構築していくためのプロジェクトです。

第1回は『カレーの日』のサブタイトルのとおり、おいしいカレー弁当とお米の配布をしました。このイベントだけでも、カレーの調理をしてくれたボランティアさん、お米を提供していただいた方など、多くの方との「つながり」のおかげで実施することができています。また財源として「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。皆さんから頂いた募金が野木町の福祉を支えています。

このように「支えあい ともに生きる 笑顔あふれるまちづくり」には、地域にお住いの皆さんの協力が必要不可欠です。これからも地域福祉活動へご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



当日の配布の様子



素敵なコメントもたくさんお寄せいただきました！



次回の地域ふくし・思いやりプロジェクトは、
8月20日(土)に開催予定です。

詳しくは、社協ホームページ、またはTwitter等でお知らせします。



野木町社協Twitter

夏の脳卒中に要注意！

夏は暑さや湿気で汗をかきやすく、血液がドロドロになって血栓ができやすい季節です。汗をかいていない時でも水分をしっかりととり、動脈硬化予防のためにバランスの良い食生活や適度な運動を心がけましょう。

脳卒中とは？

- ・ 脳梗塞…脳の血管が詰まること。
- ・ 脳出血…脳の血管が破れて出血すること。

こんな症状があったらすぐに受診を！

- ・ 呂律が回らなくなる、言葉が出にくくなる
- ・ 片側の目が見えにくい、物が二重に見える
- ・ 片側の手や足に力が入らず、体の半身が痺れる
- ・ 顔の片側が下がり、ゆがんでいる
- ・ めまいがする、ふらついて立てない、歩けなくなる



ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。日本赤十字社野木町分区では、町内9箇所に募金箱を設置し、救援金を募集しています。



野木町分区長へ中間報告

真瀬宏子分区長より「皆様のあたたかい支援の心がウクライナの皆様に届くよう、確かにお預かりいたします。一日も早い収束をお祈りしております。」とのお言葉をいただきました。

令和4年5月25日時点
213,820円

※ウクライナ人道危機救援金の期間について
令和4年9月30日(金)まで延長されました。

※野木町内 募金箱設置場所(9箇所)

役場本館、保健センター、公民館、ひまわり館、図書館、きらり館、ホフマン館、野木町商工会、ホープ館

野木第二中学校から救援金

生徒会を中心に集めていただいた救援金とメッセージカードを受け取りました。

メッセージカードは老人福祉センター(ホープ館)入口に掲示してありますので、ぜひご覧ください。

救援金は野木町社会福祉協議会を通して、日本赤十字社栃木県支部へ送金されました。



『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開設しています。

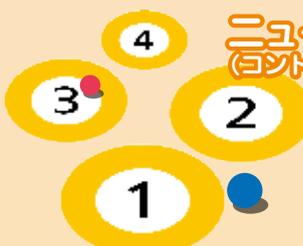
相談種別	日時	内容	相談員	問い合わせ先
心配ごと相談	毎月第1水曜日 午前10時～正午	日頃の悩みなど 日常生活について	民生児童委員 保護司 人権擁護委員	野木町社会福祉協議会 (野木町老人福祉センター内) ☎57-3100
法律(弁護士)相談	毎月第3木曜日 午前10時～正午 (要予約・問い合わせ先まで ご連絡ください。)	財産・扶養・土地・金銭貸借・ 賠償・離婚などの問題に 関する相談 (原則として、 年度内に1人2回とします。)	弁護士	
ボランティア相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	ボランティア保険の加入や 社会福祉支援活動に 関する相談のある方	社協職員	
生活資金・ 地域福祉権利擁護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	生活資金や日常金銭管理に 心配のある方	社協職員	
介護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	介護に関する相談のある方	地域包括支援 センター職員	

●いずれの相談も無料です。秘密は厳守いたします。

ボランティアチャレンジスクール 参加者募集

今年のテーマは「障がい」です。学校では体験できない疑似体験とニュースポーツを通して、障害がある人も含めたすべての人にとって「やさしい」社会であるためのヒントを学んでみませんか。

内 容

<p>疑似体験 学習</p>  <p>AM</p>	<p>お昼休み (昼食は当会にて 用意します)</p>	<p>ニュースポーツ (ボントロールアタック) に挑戦</p>  <p>PM</p>
---	--	---

日 時 令和4年8月2日(火) または 3日(水)
※二日間とも内容は同じです。参加しやすい日で申し込みください。

場 所 ホープ館(町老人福祉センター)

対象・人数 町内在住 小学4年生～中学3年生 各コース12名
※定員を超えた場合は抽選とします。

参加費 500円(昼食代・当日に徴収します)

申込方法 申込用紙を直接窓口(ホープ館)に持参、またはGoogle formからお申込ください。
※申込用紙はホープ館にて配布しています。

受付期間 令和4年7月4日(月)～15日(金) 窓口持参の場合 8:30～17:15(土・日を除く)

申込・問合せ 野木町社会福祉協議会(町老人福祉センターホープ館内)
野木町大字友沼5840-7 TEL: 57-3100 FAX: 57-3101



申込みはこちらから



ひとりぐらし高齢者交流会 参加者募集

日 時 令和4年7月28日(木) 午前10時～正午

内 容 「ハンドベル演奏」 ◇フェアリーベル
「ゆかいな腹話術とマジックショー」 ◇プリティーワールド

場 所 ホープ館(町老人福祉センター)

対象・人数 町内在住の75歳以上のひとりぐらしの方 60名(先着順)

申込期間 令和4年6月30日(木)～7月8日(金)

申込方法 電話(57-3100)または野木町社会福祉協議会まで直接お申込みください。(土・日を除く。)

また、当日会場までの送迎を希望される方はお申し込みの際にお伝えください。

申込・問合せ 野木町社会福祉協議会(町老人福祉センターホープ館内)
野木町大字友沼5840-7 TEL: 57-3100

※今年度から個人宛の通知は行わなくなりました。

